

2015 年度後期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ 93 名の学部生みなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数 15 科目（実施必須科目数 5、実施任意科目数 10）のうち、12 科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5 段階評価で 4.57 であり、大学全体の回答平均値 4.30 よりも少し上回っていました。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の関心がみられたのが、「この分野の関心と学力が得られた」（相関係数：0.85）、「教員は授業時間を有効に利用した」（相関係数：0.74）、「授業中意欲的に取り組んだ（ノートをとる等）」（相関係数：0.64）、「教員の話し方は明瞭であった」（相関係数：0.64）、「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」（相関係数：0.64）でした。

この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の興味・関心を刺激するよう双方向的な授業が展開されていることをあらわしていると捉えることができるかもしれません。先生方には、ファシリテーターとしての役割も十分に発揮して頂いたとも考えられます。

一方で、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.41）よりも高い結果となっていますが、他の項目のすべてが 4 点台であったことと比べると幾分低い値を示しています（平均回答値：3.64）。ただし、前期の回答結果（平均回答値 2.96）と比べてみると改善の傾向をみてとることができます。

今回のアンケート結果でみられた「良い」ところについては、今後も伸ばし、「気になる」ところについては改善を進めていき、授業の質的向上に努めていければと思います。